

# 積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)

## 餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乘院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

福鈴まつり、今年も開催します。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

### 万灯会

祖師の志を今に引き継ぐ

餘慶寺は比叡山が総本山の天台宗であります。学校に校歌があるように、天台宗には宗歌があります。

明らかく 後の仏の御世までも

光りつたへよ 法のともしび

これは日本天台宗を開かれた伝教大師最澄が若かりし頃、一人比叡山に籠もり、庵を結んで修行することを志し、その誓いを詠んだ聖句であります。時に延暦七年(七八八年)、最澄二十二才、今から一二二七年前のことでありました。

最澄は慈悲の光が、あまねく世の中を照らし、後の世までも仏の教えが及びますようにと願い、灯明をとされました。

その思いは現代にも引き継がれ、ここ餘慶寺では水祭り万灯会に、三界万霊、すべての生きとし生けるものへ灯火を献げます。

餘慶寺万灯会へ、どうぞお詣りください。



## 餘慶寺 夏の行事

### 山家会 (本堂)

六月三日(水) 十六時  
四日(木) 八時

日本天台宗の開祖伝教大師最澄さまの命日法要です。前夜の法要を併せ「伝教大師和讃」をお唱えします。

### 写経会 (本堂)

七月一日(水)  
三日(金) 五時

早朝のさわやかな空気の中、心を落ち着けて写経をしましょう。毎日、法話があります。また期間中の日中も写経がしていただけるようご用意しております。六月二十五日(木)までに各院または納経所へ志納金三千円を添えてお申し込みください。

### 愛宕会 (愛宕社)

七月二十三日(木)

愛宕社に火難を防ぐ神様として祀られる將軍地藏のお祭りです。当日は年一回のご開扉があります。

### 初盆供養会 (本堂)

八月十五日(土)

亡くなられてから最初に迎えるお盆を初盆といい、ねんごろに供養するものです。餘慶寺では本堂にて初盆供養会をおこなっています。今年初盆を迎えられる方へご案内をお送りします。

### 水祭り・施餓鬼会 (本堂)

八月二十九日(土) 十七時  
万灯会(境内) 十九時

夏を締めくくる、ご先祖様を供養する法要です。お接待と楽しいイベントも用意しております。

### 各院からのお知らせ

#### 恵亮院より

毘沙門天王縁日護摩祈禱  
(於 恵亮院毘沙門堂)  
毎月三日 午前十時

#### 本乗院より

写経会(於 本乗院客殿)  
毎月第三日曜日  
四月～十月 午前六時

#### 定光院より

大聖歡喜天縁日(於 定光院)  
毎月十五日 早朝より  
※病氣平癒等のご祈禱は随時受付けています。

### 餘慶寺からのお知らせ

#### 薬師縁日(於 薬師堂)

毎月八日 午前十時  
(八月はありません。)

護摩供養をしています。  
ご祈禱のお申し込みは随時納経所へお願いします。

#### 観音縁日(於 本堂)

毎月十八日 午前八時  
みんなで観音経をあげます。  
お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

よけいじ寺子屋好評開講中。お気軽ににご参加ください。

### 写経会にご参加下さい

境内のハスが次々と開花を迎える頃、七月一日～三日の早朝五時より、餘慶寺「写経会」が行われます。

すがすがしい朝のひとつときの中、一文字一文字に心をこめてつづる写経会に参加されてはいかがでしょうか。初日と二日目は観音経の一部(偈文)を、三日目は般若心経を写します。その後、餘慶寺会館へ静かに移動して、三日間ともに朝粥のお接待をいたします。全ての行事は午前六時半に終了予定です。

なお、参加には準備の都合上、事前の申込み(志納金三千円)が必要です。是非ご参加ください。



昨年の境内の様子

### 境内の様子

ハス・スイレンの季節が近づいてきました。餘慶寺でも葉が生い茂り、蕾が少しずつ膨らんできています。六月～七月にかけて見頃になりますので、どうぞお詣りください。

## JR大富駅～上寺山

### 順路案内板完成

上寺山へ遠路より文化財探訪や霊場巡拝で訪れる方々のうち、公共交通機関を使って来られる方は、最寄り駅としてJR赤穂線「大富駅」を下車されるのですが、そこから先の道中で「道に迷った」という声をよく耳にしておりました。

そこでこのたび上寺山を良くする会、瀬戸内市、邑久町観光協会、そして土地所有者のご協力を得て、順路案内板が設置されました。

魅力ある瀬戸内市をPRする一環として、上寺山への案内表示が役立つことと期待しております。お世話になりました皆様、紙面をお借りいたしましたして御礼申し上げます。

合掌



水祭りにおきまして、古い塔婆・・・お焚き上げをいたします。古い盆提灯・・・お祀りいたします。八月になりましたら、本堂へお持ちください。

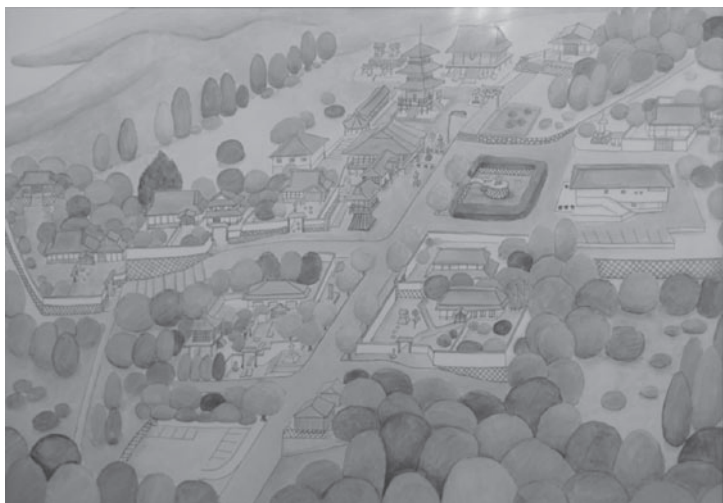


### 積善五十号発刊にあたって

岡山教区布教研修所所長 山本亮裕  
餘慶寺広報「積善」第五十号の発行を心より  
お喜び申し上げます。

「積善」は、餘慶寺と壇信徒皆様の強い繋  
がりを求め発行され内容も大変充実してあり  
ます。年間行事等を詳しく知って頂き、ご理  
解いただき、皆様の信仰生活の一助になるも  
のと確信しています。

今後、餘慶寺様と壇信徒皆様との繋がりの  
パイプ役として期待いたします。



### お祝いの言葉

岡山県議会議員 神宝謙一

「積善」第五十回記念号発刊、心よりお祝  
い申し上げます。

発刊にあたりご尽力された方々に尊敬を表  
します。

平成十五年四月積善の発刊は、私が県議会  
議員に初当選した同じ年ですので愛着を感じ  
ていましたし、ひとくち法話は、たいへん勉  
強になりました。

古きを温ねて新しきを知るのとおり、今後  
も多くの人々に愛読されることを願って、お  
祝いの言葉といたします。

岡山市議会議員 成本俊一

「積善」第50回記念号発刊おめでとうございます。  
います。

今、世は厳しく変動し、市民の方々は大変  
な生活になっている様に思います。

その中での今回の「積善」の発刊、私は期  
待の心を持ちました。それには市民の心をい  
たわる、また相手の気持ちがわかる人間にな  
りたく思います。

世の中が、平和であり全ての方が幸せにな  
ることを願っています。

心から今回の発刊おめでとうございます。



### 積善に感謝

上寺山を良くする会会長 有森 剛

「上寺山を良くする会」は、餘慶寺・豊原  
北島神社・地域の関係者によって、平成十二  
年に前組織（上寺を良くする会）を改めて発  
足した会です。

会の目的は、

一 文化財の調査・保護・啓蒙

（両詣・寺宝展等の実施、図録等の発刊）

二 環境の整備

（森の除間伐・植樹・遊歩道等の整備、

作業小屋・駐車場等の建設、照明設備

の設置）

これ等の実施・利用についての広報・啓発  
を勧めてくださったのが「積善」でした。

「積善五十号」の発刊に当り、今後共相互  
協力し、上寺山の充実発展へ向けて努力しま  
しょう。

山内僧侶に聞いてみました！

- ①七転八起
- ②パソコン、食べ歩き
- ③全国霊場巡り
- ④七年間に亘る比叡山での修行も最後の一年になりました。より一層の精進を重ねます。

- ①真摯
- ②読書（小説など）、機械や工芸品などの観賞、スキー
- ③世界各地の遺跡
- ④上寺は県下でも最大級の規模と古い歴史を持つお寺だと思えます。これは長年にわたる檀信徒の支えのおかげと感謝をし、伝統を守っていきたいと思います。

- ①小確幸
- ②読書（ジャンルは様々）
- ③岩手県花巻市（宮澤賢治のふるさと）
- ④今年五十歳になります。いつの間にか亡くなった父の年をこえました。人生は最後まで坂の上の雲を追って登り続けるのがこれからの生き方だそうです。がんばります。

- ①一日一生
- ②スイーツ巡り、スポーツ観戦
- ③各国の世界遺産
- ④上寺での生活も七年目になりました。多くの檀信徒の方々や地域の方々に顔を覚えていただき嬉しく思います。これからもより一層精進していききたいと思います。



今後とも、よろしくお祈りします！

- ①座右の銘
- ②趣味
- ③行ってみたい所
- ④何か一言

- ①不惜身命
- ②油絵、写真
- ③インド、タイ、北海道
- ④平成元年に住職を拝命して、はや二十七年。感謝と報恩の気持ちで、再出発致します。

- ①陰徳
- ②風景や植物の写真撮影
- ③寺巡り
- ④檀信徒及び地域共有財産である歴史ある餘慶寺を次世代へ引継ぐようお互い頑張りましょう。

- ①一身弁じ難く衆力成じ易し
- ②里山としての上寺山の観察と整備
- ③仏の世界
- ④里山整備を通じて、地域の方々と親しみ、お寺にも足を運んでいただけたらと願っています。

- ①今日あることを感謝しよう
- ②生け花
- ③大宇宙（ちっぽけな地球を眺めてみたい）
- ④仏様から命をいただいている私たちです。四苦八苦のある中にも今日こうして生活できていることに感謝しましょう。



## ひとくち法話

## 普通であること

今号で「積善」は五十号をむかえました。年四回季節ごとの発行ですから十二年半続いたことになりました。これもひとえに皆様のご協力があればこそです。本当にありがとうございます。

さて五十といえ、五十回忌という言葉が思い浮かびます。亡くなられてから一周忌、三回忌と法事を重ねていった後に、半世紀という長い月日が流れているわけです。父母、祖父母、きょうだい、子ども、妻、夫・・・どなたをおまつりされているかによって思いは異なるでしょう。いつの間にか五十年たっていたのか、やっと五十年を乗り越えることができたのか、人それぞれだと思います。

例えば父母の五十回忌をおつとめするという事は、不幸にも早くに死に別れたという事でもありますが、幸いにも今まで生きてこの日を迎える事ができたという事でもあります。

今の世の中を見ていると本当に次の瞬間に何が起こるか予想が付きません。老いは誰にでもおとずれますが、病気やけがは思いがけずやってきます。また自然災害、交通事故、犯罪、海に向こうでは戦争、テロ・・・本当に痛ましい出来事が日々起きていて、私たちのこの「普通の生活」というものは、何か危うい紙一重のところになり立っているのではないかという気にさせられます。だからこそ「普通」であることは「有り難い（ありがたい）」のです。

五十年間の色々な出来事、苦も楽も全てひっくりかえり今自分が在ることに感謝しおつとめすることが、五十回忌という一つの節目を迎えるにあたり大切なことではないでしょうか。

## 九州への団参報告

この度、餘慶寺団参として上寺の梵鐘ぼんしょうが出品されている九州国立博物館と、百八観音霊場三ヶ寺の巡拝に一泊二日（四月二十三日～二十四日）で行って参りました。両日共にお天気に恵まれ、有意義な旅行ゆういぎでございました。梵鐘につきましては新発見もありましたので、秋の餘慶寺寺宝展にて、特別講演を予定しております。楽しみにお待ちしております。



毎月十八日は観音縁日。午前八時より観音経を讀誦します。

毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

# 十三仏についてく阿弥陀如来く

阿弥陀如来 (三回忌)

三回忌の仏さまは阿弥陀如来さまです。太陽が沈む西の方角に阿弥陀さまがおられる「極楽浄土」という世界があるといわれています。阿弥陀さまの両脇には観音菩薩さま(百か日)と勢至菩薩さま(一周忌)が並びます。

「阿弥陀経」というお経の中に「一心不乱に念仏を念ずれば、臨終の時に阿弥陀如来が多くくの聖衆と共に迎えに來られ、極楽往生することができるといふ一節があります。

みなさんの亡くなられたご先祖さまは極楽に生まれ変わり、仏になるための修行をしています。

上寺の檀家さんの仏壇に、ご本尊さまとしてお祀りされていることが多い阿弥陀さまですが、これにはご先祖さまをよろしく願いますという意味と、ご先祖さまに感謝するという意味があります。



## よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館 (十四時く)

### 寺子屋写真館



## 今後の予定

☆『上寺の建物について』

講師 本乗院住職

六月六日(土) 小林周伸師

☆『仏教絵画を鑑賞する、そして伝える』

講師 岡山県立美術館学芸課長

六月二十八日(日) 中田利枝子先生

☆『上寺の仏像について』

講師 本乗院住職

七月十八日(土) 小林周伸師

☆『餘慶寺古文書読解 巻之三(仮)』 七月二十六日(日)

講師 瀬戸内市教育委員会 社会教育課

村上岳先生

※聴講無料です。お誘い合わせのうえ、ご参加下さい。八月はお盆期間中のため、寺子屋はお休みします。

### 編集後記

餘慶寺「積善」も本号で五十号を迎えることができました。これもひとえに、檀信徒の皆様のお陰と存じ上げております。

今後も皆様のためになる情報を発信していきますので、『積善』を末永くご愛読いただきませうよろしくお願いたします。